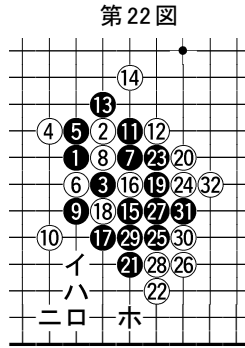


浦月四題目の解明 (3)

九段 河村典彦

【第22図】白12の変化。この12もちろん強く、一筋縄ではいかない。これに対しては黒13と組んで、白の防ぎによって攻め方を変えるのが良いだろう。二連が2つできたので、必ずどちらかが使える。



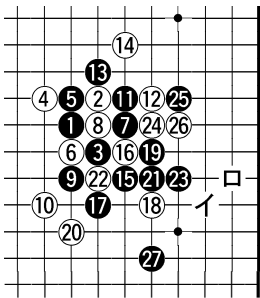
まず白14に対しては、黒15と下辺を目指す。続く黒17では迷う所だが、17と呼手を打つのが良いだろう。一見27から勝てそうだが、白14の防ぎ

の時にはうまくいかない。同様に、18と引くのも右止めが強く黒は困る。したがって黒17だが、白18の最強防を待ってから今度こそ追い勝ちをする。黒19から引くのがその第一歩で、白20の止めなら今度は黒21に引く。黒19の効果で、白22を反対なら四追いがある。白22の絶対止めを待って、黒23から順に引いて行けば何とか勝てる。黒33よりイハホ。なお、白20を反対止めなら、31に含むのが妙手となる。

【第23図】黒17は必勝の呼手だが、変化が多いだけにしらみつぶしに調べなければならない。続いては白18の変化。この防ぎに対しては黒19に引き、白20に黒21と打つ。対して白22を9の左に外止めなら以下四追い、23の外止めならその一路上にトビ三を打って簡単

【第24図】白18の変化。この手に対しては、怖いようでも黒19と含むのが破壊力のある一手。白20と24で四追いがノッているようだが、黒25からイハトまで7回の四追いがある。

第23図



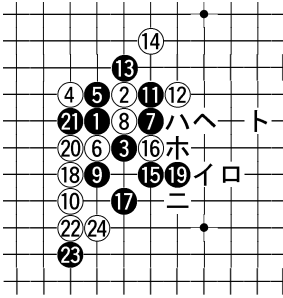
である。したがって白は中止めだが、黒23と突き出せばこれが絶好の含みになっており、問題ない。白24も一手だけの抵抗で、黒25と止めた手がミセ手になっている。黒27後イロ。

なお、白20を反対止めは、黒22と引いてしまつて問題ない。

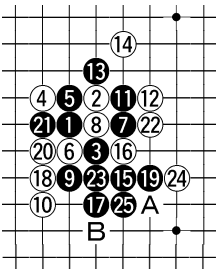
【第25図】白20を一本打ってから黒25と打てば、以下AまたはBの両ミセとなる。落ち着いて見てみれば簡単だが、いざ実際に勝とうとするとなかなか見えないものだ。

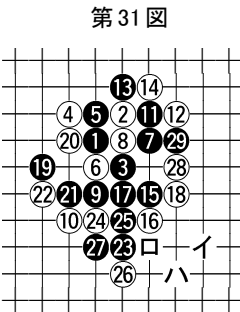
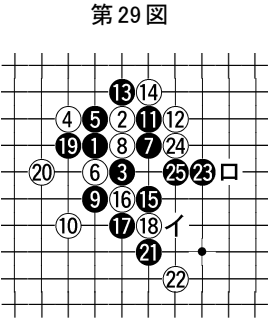
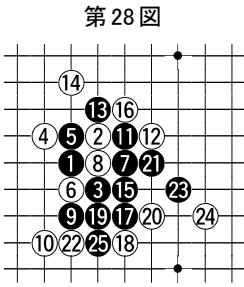
【第26図】さりとて、白20を伸びずにミセ手で止めても、黒21と幸

第24図



第25図





【第28図】白14の変化。こちらは側の二連を叩くのも強そうだが、今度は追い詰めが発生する。似たような形なので混同するが、実戦で

【第29図】同じく白14の変化。やはり黒15に突き出すのが唯一である。白16が最強防だが、黒17と含む。白18のノリ手に黒19と先手を取って、黒21に回れば勝ちが見えてくる。黒25後イロ。

【第30図】白16の変化。この16なら今度は黒17と押さえる。非常にややこしいが、黒17から勝てる。と言うのも黒21と引いた時に上が絶対で、さらに最後に黒31と使えるからである。しかも、白26をAの時にBと先手で止められる。こういう条件が揃った時に勝ちが発生するのである。

【第31図】白16の変化。この16ならやはり黒17に引くのがいいだろう。白18に黒19が使えるのが大きい。以下手順に引いて、最後に黒29も使えてノリ手を切れる。黒29後イロハ。白18を反対なら、黒19で25に組めば以下難しい所はなく、問題ないだろう。13でできた二連をうまく使った。

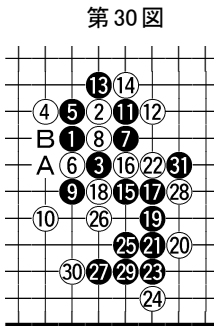
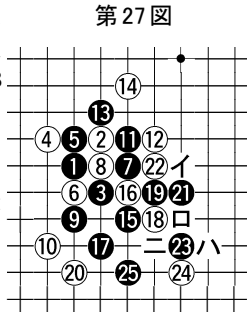
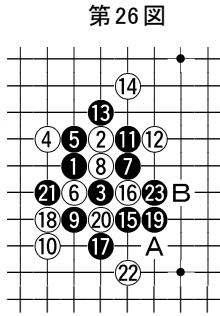
【第27図】白18の変化。これには一本黒19と乗り込んで三を引く。上止めは簡単なので下止めだが、黒21とこの三を使う。白23に伸びることができないので単に白22の止めだが、黒23と叩いて万全である。黒25の三の筋はなるべく最後に使った方が紛れが少ない。黒25後イロハ二。

【第28図】白14の変化。こちらは側の二連を叩くのも強そうだが、今度は追い詰めが発生する。似たような形なので混同するが、実戦で

【第29図】同じく白14の変化。やはり黒15に突き出すのが唯一である。白16が最強防だが、黒17と含む。白18のノリ手に黒19と先手を取って、黒21に回れば勝ちが見えてくる。黒25後イロ。

【第30図】白16の変化。この16なら今度は黒17と押さえる。非常にややこしいが、黒17から勝てる。と言うのも黒21と引いた時に上が絶対で、さらに最後に黒31と使えるからである。しかも、白26をAの時にBと先手で止められる。こういう条件が揃った時に勝ちが発生するのである。

【第31図】白16の変化。この16ならやはり黒17に引くのがいいだろう。白18に黒19が使えるのが大きい。以下手順に引いて、最後に黒29も使えてノリ手を切れる。黒29後イロハ。白18を反対なら、黒19で25に組めば以下難しい所はなく、問題ないだろう。13でできた二連をうまく使った。



【第26図】白14の変化。やはり黒15に突き出すのが唯一である。白16が最強防だが、黒17と含む。白18のノリ手に黒19と先手を取って、黒21に回れば勝ちが見えてくる。黒25後イロ。

【第27図】白18の変化。これには一本黒19と乗り込んで三を引く。上止めは簡単なので下止めだが、黒21とこの三を使う。白23に伸びることができないので単に白22の止めだが、黒23と叩いて万全である。黒25の三の筋はなるべく最後に使った方が紛れが少ない。黒25後イロハ二。

【第28図】白14の変化。こちらは側の二連を叩くのも強そうだが、今度は追い詰めが発生する。似たような形なので混同するが、実戦で

【第29図】同じく白14の変化。やはり黒15に突き出すのが唯一である。白16が最強防だが、黒17と含む。白18のノリ手に黒19と先手を取って、黒21に回れば勝ちが見えてくる。黒25後イロ。

【第30図】白16の変化。この16なら今度は黒17と押さえる。非常にややこしいが、黒17から勝てる。と言うのも黒21と引いた時に上が絶対で、さらに最後に黒31と使えるからである。しかも、白26をAの時にBと先手で止められる。こういう条件が揃った時に勝ちが発生するのである。

【第31図】白16の変化。この16ならやはり黒17に引くのがいいだろう。白18に黒19が使えるのが大きい。以下手順に引いて、最後に黒29も使えてノリ手を切れる。黒29後イロハ。白18を反対なら、黒19で25に組めば以下難しい所はなく、問題ないだろう。13でできた二連をうまく使った。